

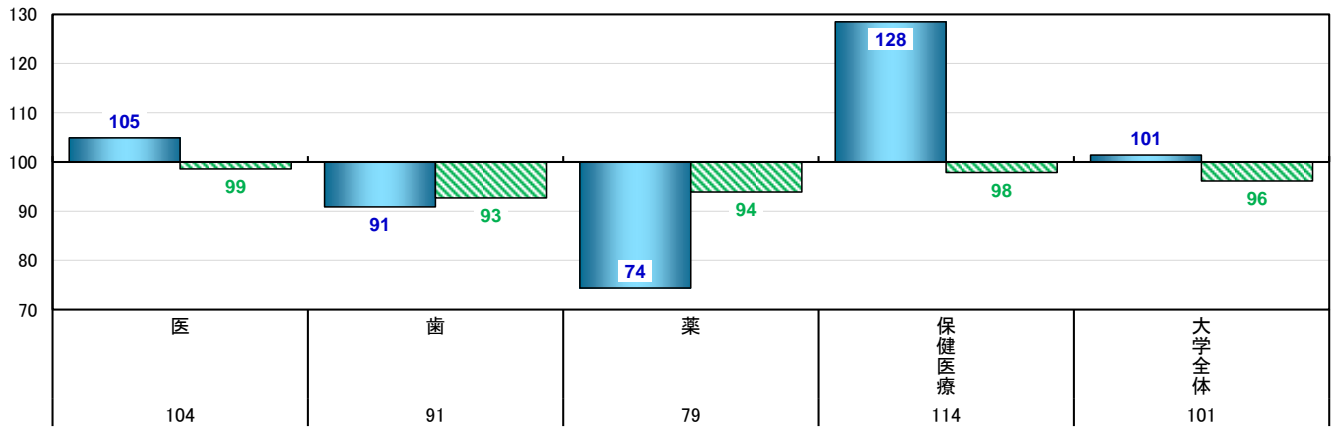
2021 年度入試状況分析【私立大】

昭和大：大学全体では3年ぶりの増加

一般：+83人 共テ：-43人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



入試変更点

入試科目：医(医)<一般・I期、II期>…数+理2+外→理2+外+(国 or 数)
 歯<一般・I期、II期>…数+理+外+面→理+外+(国 or 数)+面
 <共テ・A方式>…数2+理+外+面→理+外+面+(国 or 数)
 薬<共テ・A方式>…数2+理+外+面→理+外+面+(国 or 数① or 数②)→2
 <共テ・B方式>…<1次>国+外+(数① or 数② or 理)※理：物 or 化 or 生→3 <2次>論+面
 →理+外+(国 or 数① or 数②)→2 <2次>論+面
 保健医療(理学療法)…<一般・I期、II期>数+理+外 ※数：数I・II・A・B
 →理+外+(国 or 数) ※数：数I・A
 募集人員：保健医療(看護)<共テ・B方式>10人→6人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、40人(101)の微増で3年ぶりに増加。学部別では、保健医療(114)、医(104)が増加、薬(79)、歯(91)が減少。方式別では<一般方式>(101)は微増で5年ぶりに増加。<共通テスト利用方式>(96)は、やや減少で4学部すべて減少。

<一般方式>

- 医(105)は、4年連続減少の反動は小さく、入試科目で数学が必須から国語との選択になったがやや増加に留まった。方式別でも、<I期><II期>のいずれも前年度減少の反動は小さくやや増加。
- 歯(91)は、系統への低い人気に影響し、前年度の大幅減少引続き2年連続減少で志願者数は500人を下回った。方式別では、<I期>(94)は2年連続減少、<II期>(83)は大幅減少。
- 薬(74)は、3年連続大幅減少。方式別では、<I期><II期>いずれも3年連続大幅減少、特に<II期>は5年連続減少で、志願者数は130人余りまで減少。
- 保健医療(128)は、系統への人気の高まりと2年連続減少の反動で大幅増加。募集単位別では、(作業療法)<I期>(76)を除いた5つの募集単位は増加。学科別では、(理学療法)(145)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。数学が必須から国語との選択になり、さらに数学も数I・Aのみに負担減になったことが影響した。看護(128)は、2年連続減少の反動で大幅増加。特に<II期>(303)は2年連続大幅減少の反動で3倍以上の激増。一方で、(作業療法)(90)は減少。方式別では、<I期>(76)は大幅減少、<II期>(175)は大幅増加。

<共通テスト利用方式>

- 医(99)は、微減だが3年連続減少。
- 歯(93)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<A方式>(94)はやや減少、<B方式>(83)は大幅減少。
- 薬(94)は、前年度大幅減少の反動はなく、さらにやや減少で2年連続減少。方式別では、<A方式>(90)は減少、一方で<B方式>(132)は大幅増加と対照的。
- 保健医療(98)は、微減だが3年連続減少。学科別では、(看護)(99)、(理学療法)(98)は前年度並、(作業療法)(91)は4年連続減少で志願者数は30人に留まった。